



Photostud

## THE TOKAI TV HAI KINKO SHO

## 第61回 東海テレビ杯 金鯱賞 (GII)

1着 67,000,000円 2着 27,000,000円 3着 17,000,000円 4着 10,000,000円 5着 6,700,000円  
付加賞 714,000円 204,000円 102,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 57kg、牝馬2kg減、2024.3.9以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.3.8以前のG I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

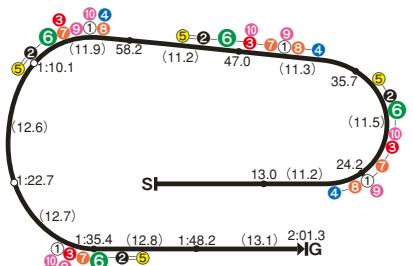
2025.3.16 中京 小雨・重 芝2000m (園路) (指定)

順位	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1	⑥ クイーンズウォーク	牝4	55	川田将雅	2:01.3	3-3-3-3	36.3	534(+0)	8.2(4)	中内田充正(栗東)	113
2	② ホウオウビスケツ	牡5	57	岩田康誠	ハナ	2-2-2-2	36.8	504(-2)	3.1(1)	奥村 武(美浦)	116
3	④ キングズパレス	牡6	57	池添謙一	2	10-10-9-7	36.0	502(-4)	23.9(6)	戸田博文(美浦)	112
4	⑤ デシエルト	牡6	57	武 豊	½	1-1-1-1	39.0	536(+4)	3.2(2)	安田翔伍(栗東)	111
5	⑦ ディープモンスター	牡7	57	松山弘平	1	6-6-4-4	36.8	464(-2)	36.3(9)	池江泰寿(栗東)	
6	⑧ プログノーシス	牡7	58	西村淳也	2½	9-9-9-7	36.8	484(+10)	3.7(3)	中内田充正(栗東)	
7	⑩ マイネルモーン	牡5	57	丹内祐次	1½	4-4-7-7	37.1	472(+2)	32.6(8)	高木 登(美浦)	
8	③ ライラック	牝6	55	石川裕紀人	3	5-4-4-5	37.8	446(+2)	25.4(7)	相沢 郁(美浦)	
9	⑨ ラヴェル	牝5	55	北村友一	3	7-7-6-5	38.3	480(+12)	11.7(5)	矢作芳人(栗東)	
10	① アスクドウボルテ	牡5	57	岩田望来	7	7-7-7-7	39.2	470(-6)	61.2(10)	梅田智之(栗東)	

単勝⑥820円(4%) 複勝⑥220円(4%) ②150円(1%) ④400円(7%) 枠連②-⑥1,280円(6%)

馬連②-⑥1,180円(4%) ワイド②-⑥500円(4%) ④-⑥1,840円(23%) ②-④740円(8%)

馬単⑥-②3,040円(11%) 3連複②-④-⑥4,470円(18%) 3連単⑥-②-④28,480円(101%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m

35.7 - 47.0 - 58.2 (11.9) (11.2) (11.3) 51.2 - 38.6

1:10.1 (12.6) 1:22.7 (12.7) 1:35.4 (12.8) 1:48.2 (13.1) 2:01.3 (13.2) MG

- アラカルト
- ・川田将雅騎手はプログノーシスで制した23年以降金鯱賞3連勝、通算5勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算144勝目
  - ・中内田充正調教師はプログノーシスで制した23年以降金鯱賞3連勝、通算4勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算44勝目
  - ・キズナ産駒はJRA重賞通算42勝目
  - ・4歳馬の勝利は22年ジャックドールに続く通算27回目
  - ・牝馬の勝利は95年サマニベッピン以来30年ぶり、通算8回目
  - ・キングズパレスの佐々木大輔騎手は負傷のため池添謙一騎手に変更
  - ・クイーンズウォークは大阪杯(G I)に優先出走できる

# クイーンズウォーク Queen's Walk

牝 黒鹿毛 2021.3.14生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・中内田充正厩舎

馬名意味・ロンドンのランベスブリッジとタワーブリッジ間の  
遊歩道

ウェイヴェルアベニュー-CAN系 F10-a

キズナ 青鹿毛 2010	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
ウェイヴェルアベニュー-CAN Wavell Avenue 鹿毛 2011	Harlington 黒鹿毛 2002	Unbridled Serena's Song
	Lucas Street 栗毛 2004	Silver Deputy
		Ruby Park

5代までのインブリード: Mr.Prospector M5×M5

## INTERVIEW

村上隆博 廐舎長(ノーザンファーム早来)

### 競走馬としての成長を感じました

昨年の秋に調整先であるノーザンファームしがらきに馬を見に行く機会がありましたが、骨格の良さに見合った筋肉がついてきた印象を受けました。今回は馬場が悪化したなかでのレースとなりましたが、一線級の牡馬を相手に力強く走ってくれただけでなく前残りの展開を差し切った姿に、競走馬としての成長を感じました。今年はG Iを取ってもらいたいです。



N.Inaba

重賞3勝目を挙げた。持ち前の末脚で一蹴し、直打ちの高い動戦をひと叩きされて臨んだこの日は前2走の汚名を返上。強力な牡馬勢をオーバーでも4着に食い込むなど、世代の一線級として活躍した昨年の本馬だが、最後の一冠・秋華賞はよもやの敗れていた。それでも大敗明けの始大敗(15着)。1月の小倉牝馬Sも早めのスタートから踏ん張り切れず、6着

クイーンC、ローズSと重賞を2勝、躍り出る。だが、楽な手応えをキープしたまま直線に向き、馬場の真ん中へ持ち出されたクイーンズウォークはこれを上回る末脚を發揮。押し切り寸前の相手をキツチリと捉えてゴールに飛び込んだ。

スンナリと先頭へ。しかしコーナーを回るあたりからガツンと行きたがつてしまつた同馬は独り相撲の逃げを打ち、自分のリズムを守つて2番手を進むホウオウビスケットとの差がどんどん広がる。クイーンズウォークの川田将雅騎手は折り合いに専念して離れた3番手を追走。スタートで後手を踏んだブログノーシスは、縦に長く伸びた隊列の後方2番手で末脚を温存した。前半1000mの通過が58秒2、道悪馬場(重)に速いラップを刻んで飛ばしたデシエルトは直線に向くとさすがに失速。4コーナーから差を詰めにかかったホウオウビスケットがジリジリと迫り、残り100m地点で先頭に躍り出る。だが、楽な手応えをキープしたまま直線に向き、馬場の真ん中へ持ち出されたクイーンズウォークはこれを上回る末脚を發揮。押し切り寸前の相手をキツチリと捉えてゴールに飛び込んだ。

### 父キズナ

北海道新函町 株式会社ノースヒルズ生産 詳細はP.6参照

### 母ウェイヴェルアベニュー-CAN

北米20戦7勝(B.Cフィリー・メアスプリント・米G1、シャインアゲインS・米、BCフィリー・メアスプリント・米G12着、ギャラントブルームH・米G22着、ベッドオーロージズH・米G32着、マディソンS・米G13着)、17年輸入

### グレナディアガーズ(18 牝父Frankel)持込 中央15戦3勝(朝日杯フューチ

ュリティS G1、阪神C G1、阪神C G12着2回、ファルコンS G32着、N HKマイルC G13着、京成杯オータムH G33着)、英1戦0勝、種牡馬アストロフィライ(19 牝父ディープインパクト)中央10戦2勝

ソバープレーン(20 牝父ロードカナロア)中央3戦0勝

### クイーンズウォーク 本馬(21 牝父キズナ)中央9戦4勝(金鯱賞GII、ローズ

S GII、クイーンC GIII、オーフスG14着)獲得総賞金190,640,000円

ウェリントンアーチ(22 牝父ドゥラメンテ)

(23 死産)

(24 牝父サートゥルナーリア)

### 祖母ルーカストリート Lucas Street

カナダ産 北米5勝(オンタリオファッショント・加L2着、シェイディウェルS・加L2着、スコットサンナS・加L2着)

バシシェバパーク Bathsheba Park(10 牝父Harlington)韓4勝

### ウェイヴェルアベニュー-CAN(11 前出)

スモールヴィクトリーズ Small Victories(13 駕父Marchfield)北米10勝ソリティアズヴィジョンCAN(14 牝父Court Vision)北米1勝、輸入繁殖牝馬、オーダーリン Oh Darlin(ジュベナイルフィリーズS・米2着)の母

### 曾祖母ルビーパーク Ruby Park

カナダ産 北米4勝(シェイディウェルS・加、ジョージCヘンドリーH・加G32着、バラードS・加2着2回、ウイムジカルS・加L3着)

### ルーカストリート Lucas Street(04 前出)

エメラルドクレセント Emerald Crescent(06 駕父El Prado)北米、バルバドス9勝

コーラルポイント Coral Point(11 牝父Graeme Hall)ブルートリコ11勝(ブレンサイピカ賞2着)

### 母の父ハーリントン Harlington

アメリカ産 北米6勝(ガルフストリームパークH G2)

(BMS代表産駒)グレナディアガーズ(前出)、クイーンズウォーク(本馬)

# 強力な牡馬勢相手に汚名返上の勝利

大阪杯の前哨戦と位置付けられてい  
る金鯱賞には、芝2000m戦で実績  
を残している好メンバーが集結。な  
ども函館記念1着、秋の天皇賞の3着

でも馬ウオウビスケット、逃げの戦法に  
開眼してアンドロメダS、中日新聞杯  
を連勝中のデシエルト、2003～05

年のタップダンスシチー以来となる金  
鯱賞3連覇に挑むブログノーシスが拮  
抗した支持を集めた。とはいえ勝利を

飾つたのは3頭に次ぐ存在と目されて  
いた4歳牝馬。昨秋のローズSの覇者  
クイーンズウォークが高らかに「復活

を宣言した。  
降りしきる小雨のもとでゲートが開  
くと、スピードに乗ったデシエルトが  
クイーンズウォークが高らかに「復活

を宣言した。  
3番手を追走。スタートで後手を踏ん  
だブログノーシスは、縦に長く伸びた  
隊列の後方2番手で末脚を温存した。  
前半1000mの通過が58秒2、  
道悪馬場(重)に速いラップを刻んで飛  
ばしたデシエルトは直線に向くとさす  
がに失速。4コーナーから差を詰めに  
かかったホウオウビスケットがジリジ  
リと迫り、残り100m地点で先頭に